

新基地建設反対名護共同センターニュース

“新基地建設に終止符を打つ大事な選挙”

必勝総決起大会で岸本ようへい氏が力強く決意表明

参加した名護市内の女性は「拍手続きですごく盛り上がった。洋平さんの人柄や固い決意に感動した。頑張れば勝てる」と確信した」と話していました。

岸本ようへい氏は「新基地建設に終止符を打つ。新基地は大きな争点だ。次の世代に大きな負担を残すわけにはいかない。現職市長は新基地への態度表明を避けている。暮らしや環境を守れない。無責任だ」と批判。「保育料など無料化は再編交付金に頼らなくても可能だ。必ず実施する」と力強く宣言し、待機児童の解消や6次産業の推進も訴えました。

1か月後に名護市長選が迫る23日、岸本ようへい氏予備候補の必勝決起大会が名護市内で開かれ、「オール沖縄」を支持する1000人を超える人々が集まりました。稲嶺進後援会長（前市長）が挨拶、玉城デニー知事がビデオメッセージ、照屋義実副知事や赤嶺政賢衆院議員、伊波洋一参院議員、瑞慶覧朝敏南城市長、洋平氏の同級生などが激励しました。



写真上は、フナーレで「オール沖縄」の地方議員や国会議員、南城市長などと頑張ろう三唱する岸本ようへい氏（中央）、写真左は、決意表明する岸本氏（右）と妻・聖子さん。

保育料など無料化 交付金に頼らず実施する

貴重な自然を破壊する米軍基地

名護で研究者が「市民学習会」

『やんばるの森と大浦湾の自然を守る』名護市民有志の会と『沖縄の基地と行政を考える』大学人の会は18日、名護市内で約80人の参加で市民学習会を開きました（写真）。沖縄大学の桜井国俊名誉教授は「やんばるは森と海のつながりを大切に、人々の生活と自然の営みが調和しているが、そのつながりを断ち切っているのが米軍基地だ」と報告。沖縄平和市民連絡会の北上田毅氏は「大浦湾のB27地点は水面下90mまで軟弱地盤だが周辺のデータから類推しているに過ぎない。今からでもB27地点をボーリング調査すべきだ」と指摘。加藤裕



弁護士は日本弁護士連合会が普天間飛行場の撤去や返還について政府に提出した意見書について説明。吉川秀樹氏は大浦湾の貴重な自然と国際的な動きについて講演しました。

沖繩県は22日、米軍キャンプ・ハンセンで海兵隊員223人の新型コロナウイルスのクラスターが発生し、キャンプ・シュワブで働く日本人男性がオミクロン株に感染したと発表しました。日米地位協定によって米兵が検疫なしで在日米軍基地から自由に入国できることが日本の水際作戦の穴となっている問題が浮き彫りになっていきます。ゲート前では23日、小雨の中約40人が座り込みました。司会のヘリ基地反対協・仲本興真事務局長は「キャンプ・ハンセンとシュワブは地続きだ。オミクロン株の感染防止のためにも違法工事を直ちに中止せよ」と防衛局員に抗議しました（写真中央奥）。



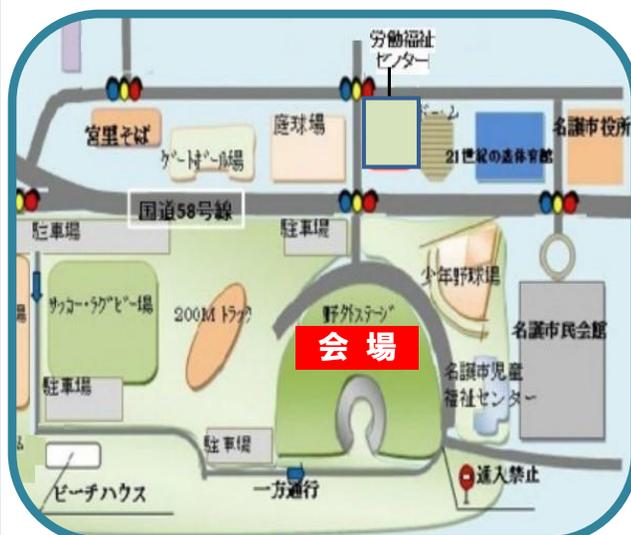
シュワブでもオミクロン株が 米兵の移動が水際作戦の穴に

2022年初興し

とき 1月1日(土)
 ところ 辺野古の浜
 午前7時～8時
 連絡先 ヘリ基地反対協議会
 プログラム

- ① 御願 ② 開会挨拶 ③ 古典音楽斉唱（三線） ④ 琉球舞踊（かぎやで風） ⑤ 大合唱 ⑥ 来賓あいさつ ⑦ カチャーシー ⑧ 閉会の挨拶
- ※雨天決行。出演者は6:30集合、服装は普段着、調弦の高さはB(3)、かぎやで風を踊る方は可能な限り扇子持参を。

1・8 県民集会を名護市長選の勝利めざす決起集会に！



デニー知事を支え 辺野古新基地建設即時断念を求める県民集会

- 日時：1月8日(土) 午前11:00～
- 場所：21世紀の森公園 野外ステージ(名護市)

● 駐車場について
 係員の誘導に従ってください。野外ステージの駐車場の他、市民会館の東(左)側駐車場などご利用ください。ただし、市民会館の右側手前は成人式準備のため利用不可です。